

電 力 情 報

NO. 31

平成21年7月31日

東 北 電 力 (株)

「『東北電力^{ナウ}NOW』CSRレポート2009」の発行について

～当社のCSRへの取り組みについて紹介～

当社はこのたび、CSR（企業の社会的責任）に関する平成20年度の取り組みを中心に取りまとめた「『東北電力^{ナウ}NOW』CSRレポート2009」（以下、レポート）を発行しました。

本レポートは、当社のCSRに対する考え方や、CSRに関わるさまざまな活動について、広く皆さまにお知らせするために毎年発行するもので、今回で5回目の発行となります。

当社では、全社的な視点からCSRに関する全ての活動を統括する「CSR推進会議（議長：取締役社長 高橋宏明）」を設置し、そこで策定した「東北電力CSR活動方針」に基づき、安全確保・安定供給に加え、「地域協調・地域活性化支援」、「企業倫理・法令遵守」、「環境への配慮」など、CSRに関する取り組みを積極的に進めております。

今回のレポートでは、当社の事業活動のなかでの重要性と、社会の皆さまの関心の度合いがともに高いと思われる事項として、平成21年6月に策定した「東北電力グループ経営ビジョン2020～地域と共に～」の概要をはじめ、「プルサ・マルの推進」、「原子力発電所の品質保証と耐震安全性向上の取り組み」、「低炭素社会実現に向けた取り組み」などを巻頭のクロ・ズアップで取り上げております。

また、当社事業活動全般についてご理解いただくため、レポート全般にわたり、タイトルの工夫や図表・写真の活用を行うなど、読みやすく、わかりやすいレポートづくりに心がけるとともに、当社が実施したアンケート調査における地域の皆さまの当社に対するご意見・評価等の内容および当社回答の掲載、従業員へのインタビュー・記事の掲載等を通じ、より一層当社の顔が見えるレポートとなるよう努めております。

さらに、今回のレポートにおいても、昨年同様、GRIガイドラインなどCSRレポートに関する国内外のガイドラインを参考にするとともに、社外有識者からのご意見・評価を収録するなど、レポートの客観性と双方向性の確保に努めております。

なお、環境問題への取り組みについては、実績データ等を補足した「環境行動レポート2009」を当社ホームページ(<http://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/index.html>)で、本年8月下旬頃に公表を予定しております。

当社は、本レポートを活用し、社会の皆さまとの対話を基本とした双方向コミュニケーションの促進をはかるとともに、「地域社会(みなさま)のより大きな信頼を東北電力」というスローガンのもと、東北地域(東北6県および新潟県)の皆さまと共に成長し続ける企業として、今後ともCSR活動を積極的に推進して参ります。

レポートの概要は別紙のとおりですが、レポートの内容については、当社ホームページ(<http://www.tohoku-epco.co.jp/csrreport/index.html>)にも掲載しております。

以上

別紙1 『「東北電力^{ナウ}」CSRレポート2009』の概要

別紙2 2008年度CO₂排出原単位の実績について

GRI (Global Reporting Initiative)

グローバルに通用するサステナビリティ報告書のためのガイドラインの作成・普及を目的としたNGO(非政府組織)。